

II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者福祉】

高齢者が生きがいをもち、介護が必要になっても安心して暮らしている。

柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て】

住み慣れた地域の支援を受け、安心して育児や療育ができています。

柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【障害者福祉】

障害者が各自の能力に応じた就労、社会参加により自立し、また生活支援により住み慣れた地域で生きがいをもち安心して暮らしている。

柱4 健康な生活の確保【健康づくり】

自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている。

柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

もしもの場合の保険年金制度が健全に運営され、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。

柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

【生活支援・福祉活動】

市民が地域で安心して暮らせるように生活支援が充実しているとともに、市民、市民団体、市役所などが協働し、地域を支え合い活動している。

まちづくり評価シート

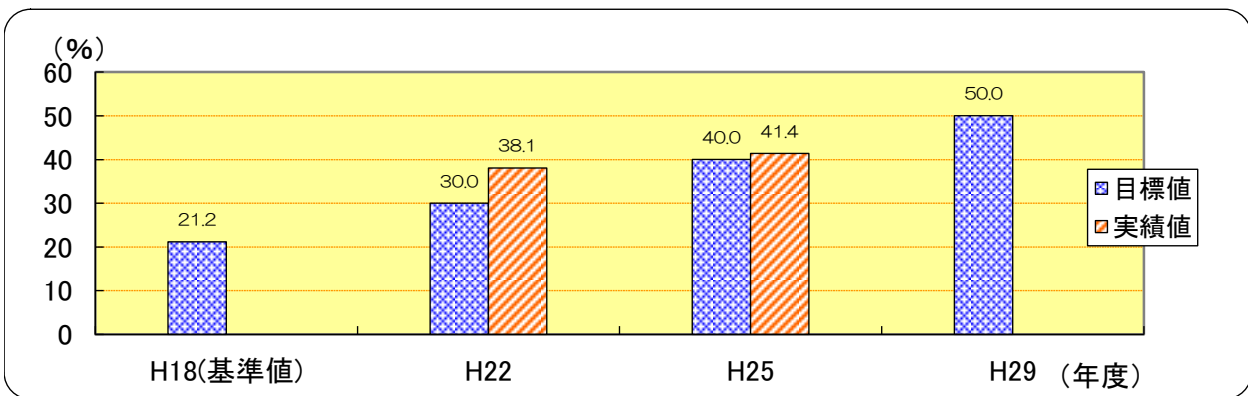
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

高齢者生きがい課【担う柱:1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。
目標値	%	—	40.0	
実績値		21.2	41.4	
達成率	%	—	103.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業及び相談窓口を充実させることにより、在宅福祉の充実を図っている。シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援し、今後も引き続き関係機関と協力をしながら、高齢者福祉事業の推進に努めて、高齢者がいつまでも生きがいのある生活をしていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・介護認定支援事業 ・地域支援事業
目標値	%	—	15.0	15.7	16.3	
実績値		13.0	12.7	13.4	12.9	
達成率	%	—	118.1	117.2	126.4	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	地域包括支援センターの職員が、二次予防事業対象者宅を訪問し介護予防事業の目的を説明し参加を促した結果、介護予防への意識が高まった。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。介護予防事業参加のため二次予防事業対象者に事業参加を促す文書の発送や家庭訪問を行い、その後、地域包括支援センターが直接アプローチした。


指標名	介護保険サービスを利用している割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.0	81.0	82.0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業 ・介護サービス負担軽減事業
実績値		77.2	80.6	82.1	80.7	
達成率	%	—	100.8	101.4	98.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。
市役所	介護保険ガイドブックを送付し、広報こうなんにサービス利用の案内を掲載するなど、介護サービスの利用促進に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
<p>地域資源を活用して、介護予防教室を開催し、高齢者が現在の自分の健康や生活について振り返り、楽しみや生きがいをもって暮らすために、自発的に行動できるような機会を設ける。</p> <p>また、安心していきいきと暮らせるまちづくりをめざし、介護保険、福祉、保健及び医療等の各種サービスや、地域における多様な社会資源の総合調整を行い、困難事例や広域的な課題について検討し、統一的な支援体制を総合的に整備することに努める。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
要介護認定者等になるのを防ぎ、介護にかかる給付費を抑える一方、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、サービスの充実をめざしていただきたい。

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	30.0	35.0	40.0	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業
実績値		28.5	—	—	38.9	
達成率	%	—	—	—	97.3	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。

目標達成のための今後の展開方針
<p>高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の生活支援)等に対して、地域包括支援センターを中心にその解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり、今後においてもより一層の支援、連携を図ることが必要である。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者や介護が必要な高齢者の増加が予測されるなか、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援を始め高齢者福祉サービスの充実を図っていただきたい。</p>

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名		シルバー人材センターの登録者数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	631	676	721	・高齢者生きがい活動事業
実績値		491	376	367	359	
達成率		%	—	59.6	54.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	生きがいをもって働きたいと思う高齢者に、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、広報紙への掲載でさまざまな事業の情報が得られている。					
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。					

指標名		老人クラブの会員数				主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	8,302	8,476	8,651	・老人クラブ事業
実績値		6,866	5,518	5,291	5,322	
達成率		%	—	66.5	62.4	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。					
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。					

目標達成のための今後の展開方針	
高齢者が生きがいのある充実した生活を送ることができるように、シルバー人材センター、老人クラブへの補助金を交付することで自主的な活動を促進し、会員数の増加を図るとともに、生きがいをもって参加できる事業を展開できるよう支援をしていく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業及び相談窓口の充実が図れた。特に介護予防事業は対象者のリストアップから予防教室の開催まで、基礎的な事業体制を構築できた。また、高齢者が生きがいをもって暮らすことができるよう、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果では、高齢者が生きがいをもち、自立して暮らしているとの思いについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と感じている市民が約41.4%あるため、平成22年度の指標からは改善が図られているが、高齢化の進展に伴い投入する資源の増大が課題となるため、時代に即した施策の見直しや受益者負担のあり方を検討しながら、今後の活動を継続していくことが必要である。

また、急速な高齢化に伴い、独居高齢者や介護を必要とする高齢者の増加が予測されることから、高齢者の孤立化を防ぐ取り組みや介護が必要な状態にならないための支援が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者が住みなれた自宅や地域で生きがいをもって活動的に暮らしていくことができるように、地域での見守り体制を整備し、民生委員や社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と協働して、高齢者をこれからの地域を担う重要なマンパワーとして位置づけ、その地域活動を支援していく。

また、高齢者が健康で豊かな生活を送ることができるよう、高齢者の介護予防に対する意識を高めるとともに、地域や関係機関と共同して介護予防事業を推進していく。

まちづくり評価シート

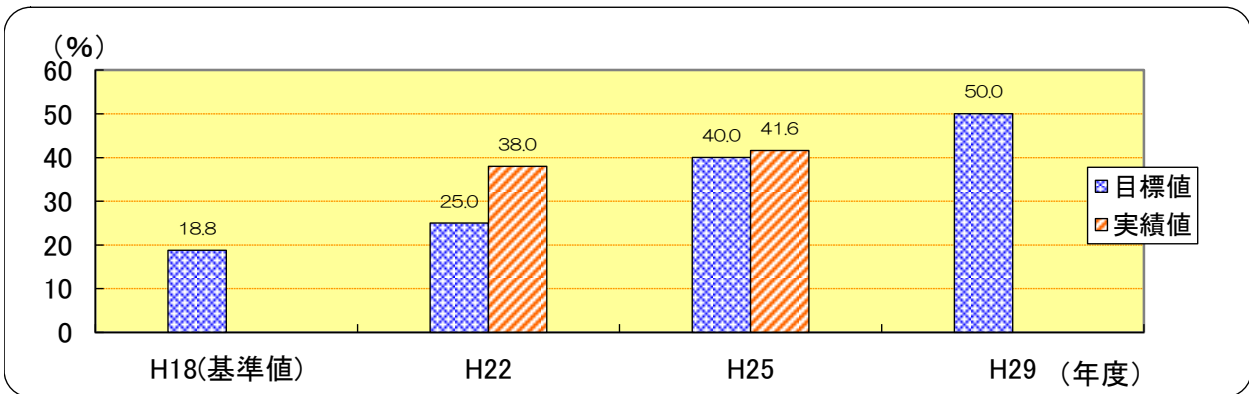
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

子育て支援課、福祉課【担う柱:2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

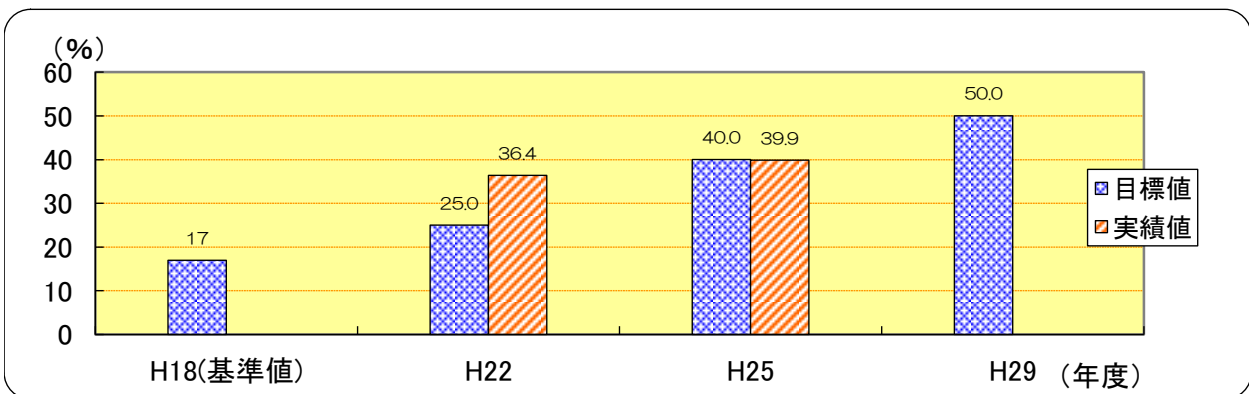
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。平成25年度から新たに1園を指定管理者制度により運営を開始し、長時間の延長保育を実施する園を増やし、保育サービスの充実を図った。
実績値		18.8	41.6	
達成率	%	—	104.0	
達成状況	—	—	☀	



指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。学童保育の時間延長等に取り組んだ。基盤施設として、保育園、保健センター等と連携し子育て支援の充実を図った。
実績値		17.0	39.9	
達成率	%	—	99.8	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの豊かな心と健やかな育ちを育むために、きめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政だけでなく地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育て環境づくりを進める必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている

指標名		保育園入園待機児童数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
<p>・保育実施事業 ・保育実施事業(保育園)</p>						
取り組みの状況						
市民	入園申請をし、保育園に通園した。 定められた保育料を納期限内に支払った。					
市役所	保育園への入園希望者に対し、入所決定及び保育料の決定をした。 多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。					

指標名		ファミリー・サポート・センター援助員数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	100	125	150	
実績値		85	120	123	123	
達成率		%	—	120.0	98.4	
達成状況	—	—				
<p>・ファミリー・サポート・センター事業</p>						
取り組みの状況						
市民	ファミリー・サポート・センターの援助会員として登録し、援助活動を行った。					
市役所	ファミリー・サポート・センターの依頼会員と援助会員との連絡調整を行い、子育て中の家庭の支援を実施した。					

指標名		学童保育受入待機児童数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
<p>・学童保育事業</p>						
取り組みの状況						
市民	学童保育所を利用し、利用料を納期限内に支払った。					
市役所	学童保育所の施設整備を実施し、待機児童の減少に努めた。					




目標達成のための今後の展開方針




保育園については、施設・設備の老朽化への対策も含め、効率的な運営に努めるとともに、ひとり親・共働き世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズの実施が求められており、子育て支援の基盤整備を推進していく。
学童保育の小学校の空き教室の利用等については、児童数の推移等を見極め、教育課と協議していく。

個別目標に対するまちづくり評価

テレビや新聞では「少子化」や「子育て支援」など、子育てをめぐる諸問題について大きく報じられている。子どもと子育てを応援することは、「未来への投資」であり、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現のために、事業を推進していただきたい。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている

指標名		子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	10,000	10,250	10,500	・子育て支援センター事業 ・育児支援家庭訪問事業
実績値		7,632	12,515	11,589	12,389	
達成率		%	—	125.2	113.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	子どもや家庭の悩みについて、子育て支援センター等へ電話相談をした。サロンを利用し子育ての楽しみを得たり、子育てサークルに参加した。					
市役所	子育て支援センターを拠点として、子育て家庭に対して育児不安等への相談や子育てサークルの育成、支援、ほほえみ広場の開催及び情報誌の発行等を行った。					

指標名		児童虐待発生件数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	・児童虐待防止対策緊急強化事業
実績値		6	34	38	41	
達成率		%	—	17.6	15.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	虐待の兆候があると思われる世帯を見聞きしたときに、児童相談センター及び市役所子育て支援課に通報した。					
市役所	市民や小中学校及び保育園などからの通報を受け、48時間以内の児童の安全確認と調査をしたうえで、指導及び保護した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>子育て支援センターについては、ニーズに応じた教室、講座の充実や、子育て支援のための各種情報を子育て家庭へ提供していく。</p> <p>児童虐待については、緊急な案件があると考えられるので、発見後の迅速な対応を最優先して事務を進める。児童虐待件数は、今後も増加することが予想されるが、関係機関と協力し、子どもの安全を第一に考えた対応を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>児童虐待を防止するとともに、虐待を受けた子どもへのきめ細やかな対応をお願いしたい。</p>	

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名 児童館活動への延べ参加利用者数

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	140,000	140,000	140,000	・児童館活動事業
実績値		132,393	113,298	119,794	123,917	
達成率		%	—	80.9	85.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	児童館を交流の場として利用し、積極的に行事等に参加した。
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できるような児童館の行事等を企画し、実施した。

指標名 こどもフェスティバル来場者数

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	30,000	30,000	30,000	・こどもフェスティバル事業
実績値		20,000	22,000	25,000	27,000	
達成率		%	—	73.3	83.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	親子や子ども同士が楽しく交流活動に参加した。 ボランティアとして事業の運営に協力した。 催事を企画し、こどもフェスティバルに参加した。
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できる事業を実施した。 ボランティアの方に事業の運営に参加していただくよう調整をした。 さまざまな市民団体が、こどもフェスティバルに参加できるよう調整をした。




目標達成のための今後の展開方針




児童館活動については、遊び方などの活動内容を点検し、児童館の本来あるべき姿を検討する必要がある。こどもフェスティバルの催し物の形態は定着しているが、マンネリ化しないように運営協議会等で新たな企画について調査・研究していく。

個別目標に対するまちづくり評価

達成率は、天候に大きく左右されることになるが、参加団体等と協力して改革改善を図るなど、市民が魅力あると感じるイベントにしていきたい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている




指標名 ひとり親家庭の自立人数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	90	90	90	・(市)児童扶養手当事業 ・児童・遺児手当等事業
実績値		83	84	94	92	
達成率		%	—	93.3	104.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	児童扶養手当の受給と併行して、就労等を行い、所得増加を図ることにより自立をめざした。					
市役所	ひとり親家庭が自立するため、補完的な経済的支援を行った。					




指標名 母子家庭が自立するための就労への教育支援件数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	20	25	30	・母子家庭自立支援給付事業
実績値		6	6	8	4	
達成率		%	—	30.0	32.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	母子家庭の母が自立するため、必要な就労教育訓練を受けた。					
市役所	母子家庭の母が自立するための必要な就労教育訓練への支援及び相談等を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
ひとり親家庭の自立は、本人の自覚や意欲が大きく左右するので、就労についての相談があれば、市や県及びハローワーク等の相談につながるような支援を行う。 就労への教育支援件数は、目標値に比べ実績が伴っていないが、母子相談の件数に大幅な減少はみられない。従って、就労への教育支援までには至らないまでも、就労相談のニーズは依然として高く、引き続き事業を継続する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
ひとり親家庭における親の就労については、昨今の社会情勢から所得を十分に得られている状況とは考えにくい。このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。	

個別目標⑤ 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けている

指標名 市の母子通園施設への受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・わかさ園管理運営事業
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康診査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもをもつ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。					
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い子どもの健全な育成を支援した。					

指標名 保育園の障害児受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業(保育園)
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	保育園での健常児との統合保育を希望する保護者は、積極的に入園申請をした。					
市役所	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達の促進を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
障害をもつ乳幼児やその家族への療育体制の充実に向けて、地域療育・支援のあり方を視野に入れ、課題やニーズの把握、施策の方向性や関係機関との具体的な連携策等について検討を行う。	

個別目標に対するまちづくり評価	
できるだけ早期に、適切な療育を行うことにより、障害の軽減及び基本的な生活能力の向上が図られるので、障害の早期発見、早期療育等の療育体制を充実していただきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成21年4月から、布袋北保育園、古知野児童館及び藤ヶ丘児童館に指定管理者制度を導入し、運営の効率化を図ってきた。新たに古知野西保育園については、平成25年度からの指定管理者制度の導入に向け選定及び指定管理者との合同保育を実施し、スムーズに引き継ぎを行うことができた。
交通児童遊園の耐震化工事を実施し、安心して利用してもらえるようになった。

◆柱全体の今後の課題

現在、子どもや子育てをめぐる環境は厳しく、近年の家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって子育てに不安や孤立感を感じる家庭は少なくない。本格的な人口減少社会が到来し、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められている。保育サービスの充実を望む声も増加傾向にあり、親が子どもを育てやすい環境整備を図るなど、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

保育園については、全体の入所希望者は横ばいの状況にあるものの、3歳未満児の入所希望は増加傾向にある。低年齢児保育への対応に努めなければならない。また、病児・病後児保育等、多様化するニーズに対し、保育サービスの充実を努める。
学童保育の利用希望者は年々増加しており、施設の拡充整備を進めていかななければならない。
子育て不安を解消するため、気軽にまた多様な相談内容に対応できるように、各相談窓口の連携に努める。

まちづくり評価シート

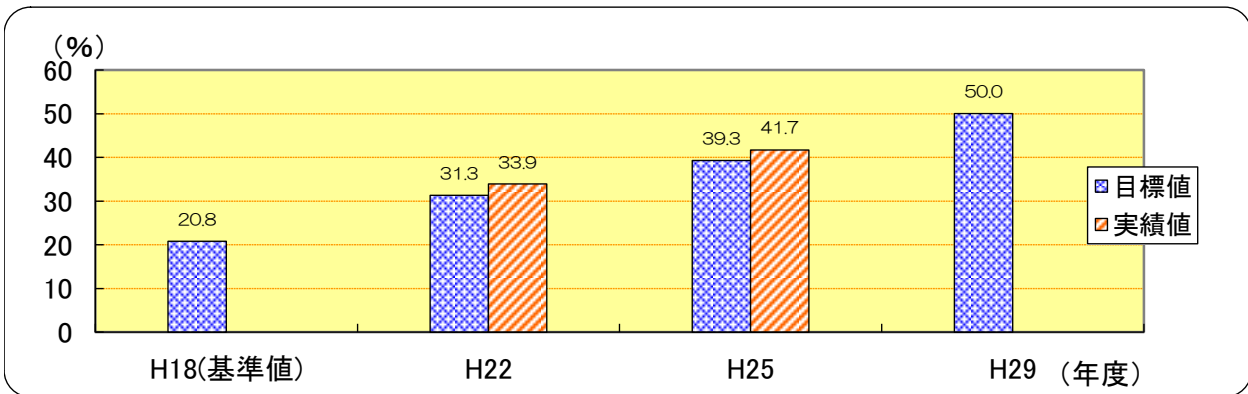
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱:3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が106.1%という結果になった。障害者総合支援法により、一元的に障害福祉サービスを提供できるようになった。
目標値	%	—	39.3	
実績値	%	20.8	41.7	
達成率	%	—	106.1	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行うことにより障害の状況に応じた福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行い、利用増につながっている。今後もサービス提供事業所の拡大に努めていきたい。




個別目標① 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている

指標名	障害者の雇用率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設管理運営事業 ・職親委託事業
目標値	%	—	1.80	1.80	1.80	
実績値	%	1.46	1.54	1.53	1.53	
達成率	%	—	85.6	85.0	85.0	
達成状況	—	—	☁	☁	☁	

取り組みの状況

市民	ハローワーク等で職業相談を受けた。
市役所	ハローワーク等と連携し、障害者雇用の促進・周知に努めた。




指標名		公共施設のバリアフリー化率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値		60.1	69.8	69.8	69.8	
達成率	%	—	116.1	116.1	116.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	複数階における公共施設にエレベーター整備や視覚障害者誘導用ブロック敷設等の要望をした。					
市役所	江南市民文化会館大ホール東側通路に手すりを設置した。					




指標名		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	73	85	97	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値		不明	32	71	101	
達成率	%	—	43.8	83.5	104.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市内の障害福祉サービス事業所で利用者がかわり、製品化した授産製品を市役所等で販売した。					
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保していく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
就労に向けた就労継続支援や就労移行支援のサービス提供事業所の参入の働きかけをお願いしたい。	

個別目標② 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

指標名 施設入所支援サービスの利用人数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	87	87	87	・障害者施設訓練等支援事業
実績値		94	92	78	94	
達成率		%	—	105.7	89.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域での自立をめざし、自立訓練やグループホーム等の支援を受けた。					
市役所	生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めた。					

指標名 訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	89	91	94	・障害者居宅生活支援事業
実績値		77	67	82	83	
達成率		%	—	75.3	90.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)等の支援を受けた。					
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)等の訪問系サービスを提供した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>障害者(児)については、福祉課で一元的に支援できるよう事務の改善を図ったが、今後も支援を継続していく。また、社会福祉法人で建設計画がある共同生活援助(グループホーム)等について補助金交付による支援を行っていく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>障害者が安定した生活を送るために何を必要としているか、ニーズ把握をお願いしたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行い、状況に応じた福祉サービスを提供することができた。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより利用増につながった。

◆柱全体の今後の課題

障害のある人が安心して生活していくために障害のある人やその家族が相談できる身近な場所の確保や必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実が求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

相談窓口として社会福祉協議会及び精神障害者地域活動支援センター「希楽里」の利用促進を図るための周知と啓発に努めるとともに、障害者が地域で生活していくうえで必要となる障害福祉サービスを実施する事業所の参入を働きかけ、施設整備の支援に努める。
また、平成25年度に新たに設置した江南市基幹相談支援センターを中心に、地域の相談支援体制の強化に努める。

まちづくり評価シート

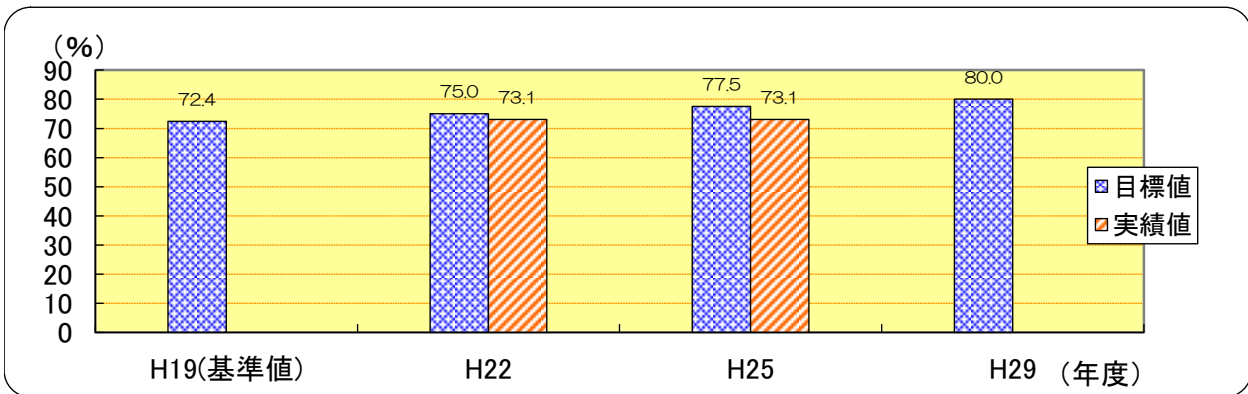
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

健康づくり課【担う柱:4 健康な生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H25	
目標値	%	—	77.5	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は、平成22年度の調査結果と変化がなかった。 市が実施している生活習慣病予防の各種健診(検診)や健康教育、健康相談等の取り組みが定着しつつある。
実績値		72.4	73.1	
達成率	%	—	94.3	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じている」の市民の割合は、平成22年度調査と同率で、目標値は達成していないが、市が実施している健康増進事業や疾病予防事業などの取り組みが定着しつつある。

一方、がん検診を始めとする検診(健診)の受診率が低値であり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、受診の必要性を広く周知する必要がある。


食と運動を中心とした健康教育により、健康の保持、増進を推進することでも、市民の健康意識の向上を図っていく必要がある。


個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる




指標名	健康診査受診率					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	70.0	71.0	72.5	・健康管理事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値		67.7	—	—	67.4	
達成率	%	—	—	—	93.0	
達成状況	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況

市民	がん検診、節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	検(健)診の案内を広報こうなんや市ホームページに掲載、ポスター、回覧板、保育園や幼稚園の保護者向けチラシ等にて周知した。 節目年齢歯科健康診査、子宮頸がん・乳がんの節目年齢対象者には個別通知をした。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】						
	単位	H14 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	27.0	29.5	32.0	・成人保健事業 ・高齢者健康増進事業
実績値		16.4	26.0	—	—	
達成率	%	—	96.3	—	—	
達成状況	—	—		—	—	
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。					

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】						
	単位	H14 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	24.0	26.5	29.0	・成人保健事業 ・高齢者健康増進事業
実績値		14.0	19.7	—	—	
達成率	%	—	82.1	—	—	
達成状況	—	—		—	—	
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。					

指標名 健康フェスティバル参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	3,500	3,500	3,500	・健康推進事業
実績値		1,600	3,016	3,128	3,660	
達成率	%	—	86.2	89.4	104.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康フェスティバルに参加し、健康づくりに対する意識を高めた。					
市役所	健康づくりを考える機会として健康フェスティバルを実施した。					




目標達成のための今後の展開方針




広報等で検(健)診、健康教室の内容を、市民によりわかりやすく伝える視点で作成し、広く正しい知識を伝えることで、受診行動や健康づくり行動につなげていく。




個別目標に対するまちづくり評価

第2次健康日本21こうなん計画に沿って、検(健)診の受診機会の提供、運動習慣のある市民が増加する取り組みが実施できている。
健康生活習慣は継続が必要なため、今後も引き続き実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名 予防接種(三種混合)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		89.4	94.2	98.5	99.7	
達成率		—	94.2	98.5	99.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	三種混合予防接種の必要性を理解し、医療機関で予防接種を受けた。 (平成24年11月から四種混合へ変更)					
市役所	三種混合予防接種の必要性や副反応を説明し予防接種を受けることを勧奨した。 (平成24年11月から四種混合へ変更)					

指標名 予防接種(BCG)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		98.1	99.2	98.1	98.8	
達成率		—	99.2	98.1	98.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	BCGの必要性を理解し、集団予防接種を受けた。					
市役所	予防接種の予診票や説明書を送付し予防接種を受けることを勧奨した。 予防接種説明会を実施し、予防接種の受け方、スケジュールの立て方を説明した。					

指標名 狂犬病予防注射接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・動物保護・管理事業
実績値		83.6	81.8	82.0	81.0	
達成率		—	81.8	82.0	81.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	狂犬病の予防注射を集団接種会場又は動物病院で受け、注射したことを届け出た。					
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を周知した。					




目標達成のための今後の展開方針

予防接種対象者が、時期を逃さず接種が受けられるよう情報提供していく。
 平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが追加され定期接種が増えたため、予防接種計画等についての相談に積極的に応じていく。
 予防接種の広域化拡大を図り、かかりつけ医で接種ができる体制を整える。
 今後さらに水ぼうそう、おたふくかぜ、B型肝炎、高齢者肺炎球菌等の任意接種が定期接種に移行することが検討されているので適切に対応できる体制を整える。
 予防接種事故防止の対策をとっていく。

個別目標に対するまちづくり評価

予防接種を実施することは、自分の健康を守るだけでなく、病気の感染防止にも役に立っている。定期接種の接種時期を逃さず予防接種ができるよう周知を徹底してほしい。




個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

指標名	妊婦健康診査の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		95.3	100.7	101.1	93.4	
達成率		—	100.7	101.1	93.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	医療機関にて妊婦健康診査を定期的に受診した。
市役所	母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の重要性を周知し、最大14回の妊婦健康診査の費用助成を行った。

指標名 乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	
実績値		98.5	96.5	99	99.6	
達成率		—	96.5	99.0	99.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	広報こうなんや案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。
市役所	健診対象ごとの受診日を広報こうなんと市ホームページに掲載するとともに、健診案内・子どもの様子等を記入するアンケートを対象者へ送付し、受診を勧奨した。又、未受診者へははがき、電話などで再度受診の勧奨を行った。


目標達成のための今後の展開方針


妊婦健康診査の受診率向上に向けては、自分の健康状態を把握し、異常に気付いたら、早期に婦人科へ受診するよう勧奨していく。
 乳幼児健診は、対象者全員に受診通知をしており、未受診者には再度受診勧奨をしている。今後も引き続き対応していく。
 さまざまな子どもや保護者、家庭環境などに合わせた適切な支援を行っていく必要がある。




個別目標に対するまちづくり評価

妊婦が安心して出産・子育てできるよう、経済的及び精神的に支援していくことができたことは評価できる。引き続き妊婦健康診査の費用助成や保健師等の専門スタッフによる育児支援が望まれる。

個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

指標名 かかりつけ医をもっている市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	60.0	62.0	65.0	・地域医療推進支援事業
実績値		56.2	—	—	62.5	
達成率		—	—	—	96.2	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。					
市役所	広報こうなんや市ホームページで、休日急病診療所の診療情報を提供するとともに、保健センターのホームページから、尾北医師会、尾北歯科医師会のホームページにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。					

指標名 病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	72.0	72.5	73.0	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		49.3	—	—	77.3	
達成率		—	—	—	105.9	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は第2次救急医療機関を受診している。					
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。					

指標名 休日急病診療所の受診者数						
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,200	2,200	2,200	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業
実績値		2,138	2,590	2,452	2,172	
達成率		—	117.7	111.5	98.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	休日の急な病気やケガの場合に、第1次救急医療施設として休日急病診療所を受診している。					
市役所	尾北医師会に運営を委託し休日急病診療所を開設した。					

指標名	救急搬送件数					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		4,000	4,586	4,713	4,687	
達成率	%	—	87.2	84.9	85.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合、適切な医療が受けられるよう第2次救急医療機関を受診している。
市役所	第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
第1次救急医療施設として傷病の初期医療を担当する休日急病診療所の周知に努める。 休日急病診療所の経年劣化に対し、計画的に補修及び修繕を行い維持管理を行っていく。 救急医療体制を充実させるため、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院へ必要な助成を行う。

個別目標に対するまちづくり評価
休日・夜間の急な病気やケガをした場合に、その症状に対応できる医療機関に受診できる体制を整えてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
各種がん検診などの実施内容等の周知を、広報こうなん及び市ホームページの掲載、チラシの地区回覧、啓発ポスターを市施設及び医療機関、食品衛生協会会員の事業所等で掲示するなどして行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。 予防接種、妊産婦及び乳幼児の健康診査は、ともに高い接種率、受診率を保つことができた。 1次医療の充実を図り、安心できる医療体制をとることができた。

◆柱全体の今後の課題
生活スタイルの変化により、がん・循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病による死因が上位を占めている。早期発見、早期治療を阻む一因として、健康診査や各種がん検診を受診する人が少ないという現実があり、よりよい生活を維持するためにも健診(検診)等の受診率の向上が必要となる。また、こころの健康は、いきいきと自分らしく生きるために重要である。現在、こころの健康の相談等の体制は、妊娠、出産、子育てに関してはできているが、その他の領域においては十分ではなく、知識の普及啓発、相談体制等の整備が必要である。平成25年度にヒブ、小児用肺炎球菌が定期予防接種に加わり、今後はさらに定期接種が追加されていく見込みであるので、接種を受けやすい体制づくりが課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
各種がん検診等の受診の必要性を周知し、受診率向上をめざす。 各種予防接種や妊婦・産婦・乳幼児健康診査は、高い接種率、受診率を維持しているが、さらなる向上をめざし、引き続き勧奨等に努める。 こころの健康づくりについては、休養の必要性も含めた正しい知識の普及啓発及び相談体制の関係機関との調整が必要である。

まちづくり評価シート

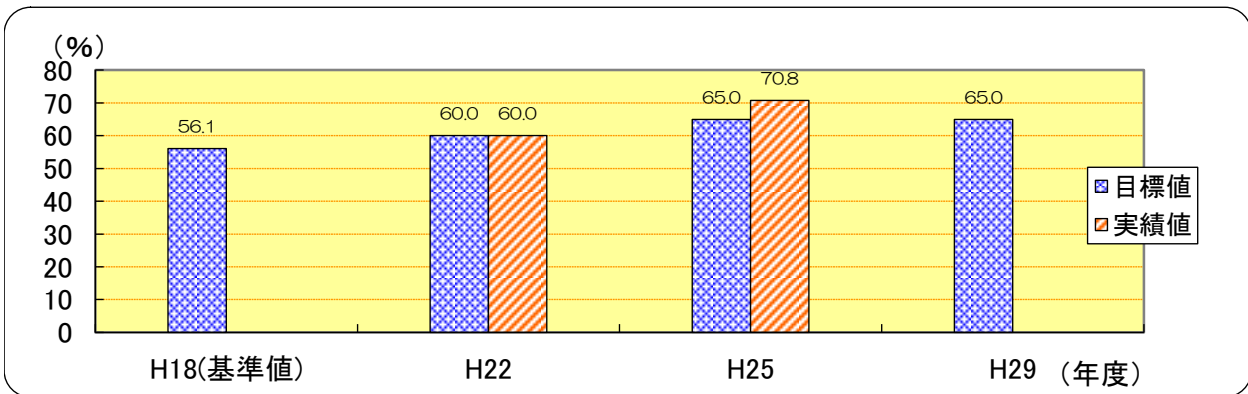
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

保険年金課【担う柱:5 保険年金制度の健全な運営】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 70.8%の市民が保険年金制度により安心して暮らしていると感じており、目標を達成することができた。これは、窓口において丁寧な説明を心がけたこと、広報こうなんや各種リーフレットなどを活用して制度のPRを図ったことなどが評価されたものと思われる。
目標値	%	—	65.0	
実績値		56.1	70.8	
達成率	%	—	108.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




目標は達成できたが、国民健康保険及び後期高齢者医療制度について、セーフティネットとしての役割がこれまで以上に増し、市民ニーズが高くなることが予想される。今後も健全で安定した制度の維持に努めてほしい。




個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている




指標名	国民健康保険給付実施率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・保険給付事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を行った。

指標名 特定健康診査実施率						
	単位	H (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	59.0	65.0	50.0	・特定健康診査・特定保健指導事業
実績値		—	44.9	45.8	46.1	
達成率		—	76.1	70.5	92.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。					
市役所	特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をめざし、広報こうなん等でのPRに努めた。					

指標名 福祉医療費助成実施率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業 ・子ども医療費助成事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率		—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	医療費受給者証の交付申請を行った。住所、加入保険等の変更届を提出した。県外受診等により、現物給付による助成を受けることができなかった場合は、償還払いの申請を行った。					
市役所	受給資格者に対し、医療費受給者証を交付した。県外受診等により現物給付ができなかった場合は、申請に基づき、償還払により助成した。					

指標名 後期高齢者医療給付実施率						
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	100.0	100.0	100.0	
達成率		—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	特定健康診査を受診し、健康増進に努めた。					
市役所	特定健康診査や協定保養所利用助成事業についてPRに努めた。					

指標名		国民健康保険税収納率(現年分)				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・保険税賦課事業 ・収納対策事業
実績値		91.7	90.7	91.1	91.2	
達成率		—	98.9	99.3	99.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民健康保険税を期限内に納付した。					
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 出張納税相談を実施した。 口座振替の勧奨を窓口で行った。					

指標名		後期高齢者医療保険料納付率				
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	99.1	99.1	99.3	
達成率		—	100.2	100.2	100.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	後期高齢者医療保険料を期限内に納付した。					
市役所	被保険者に対し、保険料の徴収や納付相談等、きめ細かな対応を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>国民健康保険給付については、制度改正に的確に対応するとともに被保険者に対しわかりやすい説明を心がける。</p> <p>特定健康診査については、実施期間、実施方法などの見直しを順次行い、受診率の目標達成をめざす。</p> <p>子ども医療費助成制度と精神障害者医療費助成制度の受給対象者の拡大と一部負担がある場合の現物給付化を検討する。</p> <p>国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより目標達成を図る。</p> <p>高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>国民健康保険及び後期高齢者医療の保険医療の給付並びに子ども・母子・障害者などの福祉医療の給付については、実施できている。</p> <p>国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営をめざし、医療費の削減に効果のある各種事業を実施してほしい。</p>	

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

指標名		国民年金保険料納付率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値		69.4	62.8	63.5	65.9	
達成率		—	90.5	91.5	95.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行った。 国民年金の保険料を期限内に納付した。					
市役所	国民年金の届出、納付、その他制度に関する広報を行った。 国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを受理し、日本年金機構に報告した。 国民年金の業務や制度に関する相談を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
国民年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、及び免除等の申請書等の受付を継続して行い、年金事務所と協力連携して納付率の向上に取り組む。	

個別目標に対するまちづくり評価	
国民年金制度に対する不安があるなか、雇用や所得の持ち直し、日本年金機構の督促の強化により、国民年金保険料の納付率は若干上昇している。しかし、国民年金保険料の納付率はなお厳しい状況であるため、年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、免除等の申請書の受付を行い、引き続き納付率の向上を図る。これまでに行ってきた事務事業を継続して実施し、年金事務所と協力連携して、さらに納付率の向上につながるよう取り組んでいく必要がある。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者などの福祉医療制度において、給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。
国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続きについて受付を行い、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

少子高齢化が加速する中で、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となっている。
子ども医療費や精神障害者医療費助成制度において生じている県内格差の解消が課題となる一方、医療の高度化などによる医療費の増加に対応するため持続可能な制度を検討する必要がある。
国民年金制度が、今後の安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

医療保険制度については、広報こうなんやパンフレットを利用した納税や口座振替の勧奨、医療費についての情報などについては広く周知する。国民年金保険料の納付率の向上をめざし、年金事務所との協力体制を強化する。また、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。


まちづくり評価シート

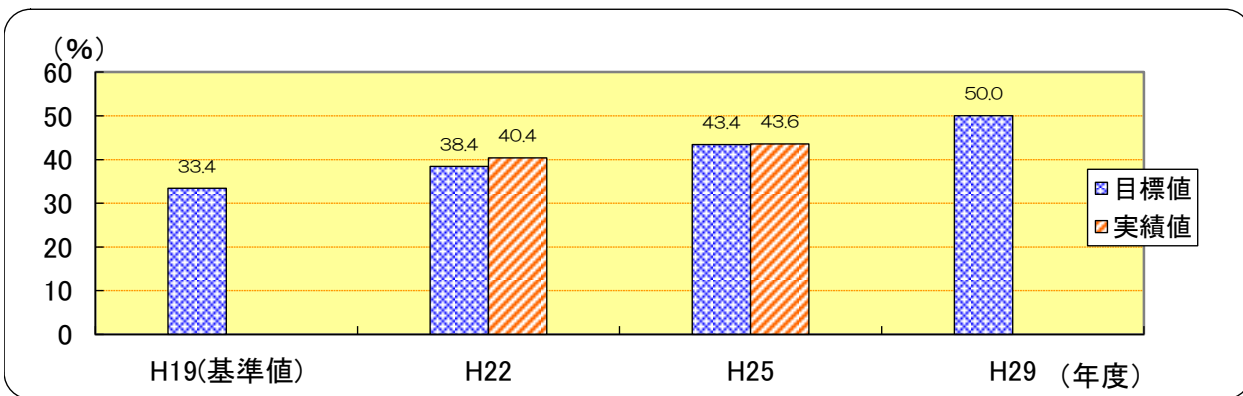
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱:6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況




全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている

指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 ハローワークなど関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が100.5%という結果になった。
目標値	%	—	43.4	
実績値		33.4	43.6	
達成率	%	—	100.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
生活困窮者などの自立支援に向け、犬山公共職業安定所、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図っていただきたい。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

指標名	生活保護世帯の自立した割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・生活保護事業 ・生活保護受給者就労支援事業
目標値	%	—	→	→	→	
実績値		13.5	13.6	14.7	10.6	
達成率	%	—	100.7	108.9	78.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	生活保護受給者が自立に向け、就労支援員とともに犬山公共職業安定所等での求職活動を行った。
市役所	生活保護者の自立を促すため、随時、家庭訪問等面談を実施して、生活環境や就労・増収等のアドバイスを行った。

目標達成のための今後の展開方針

今まで以上に生活困窮者が増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる体制が必要である。また、自立支援対策として新たに保護が開始された方に対する早期の就労支援や母子家庭に対する就労支援を行う。




個別目標に対するまちづくり評価

生活保護制度の自立助長機能を高めることと併せて、増大する生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の段階から安定した就労を支援することも緊要の課題となっている。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	団体	—	25	25	25	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		19	23	23	23	
達成率		%	—	92.0	92.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各種行事に団体が参加し、団体の活動についてPR等を行った。					
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場へ赴き、支援や助言を行った。					

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	800	800	800	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		760	1,083	960	899	
達成率		%	—	135.4	120.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。					
市役所	スポーツ大会などを行うため、障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターの支援を行った。					




指標名	市内の福祉関係のNPO団体数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	団体	—	5	5	6	・社会福祉関係団体育成事業
実績値		3	7	7	7	
達成率	%	—	140.0	140.0	116.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	各団体が行っている福祉活動を通じてボランティア活動に参加した。
市役所	各団体へ福祉関係に関するさまざまな情報を提供した。

目標達成のための今後の展開方針
地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRする。

個別目標に対するまちづくり評価
各団体の会員の構成が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている




指標名	民生委員の相談支援件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↑	↑	↑	・民生委員事業
実績値		2,103	2,879	2,922	3,217	
達成率	%	—	136.9	138.9	153.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員児童委員に相談した。
市役所	地域住民からのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員児童委員の知識向上を図った。

目標達成のための今後の展開方針
平成25年度の一斉改選に伴い、新任民生委員児童委員に対し研修等への参加を実施して知識の向上を図る。

個別目標に対するまちづくり評価
地域で身近な相談ができる方として民生委員児童委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員児童委員の知識向上を図ってほしい。

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

指標名	市の学習等供用施設の利用者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	135,000	135,000	135,000	・学習等供用施設管理運営事業
実績値		121,286	125,846	122,313	117,924	
達成率		%	—	93.2	90.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	学習等供用施設を積極的に利用した。 施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。

目標達成のための今後の展開方針

学習等供用施設の適切な維持管理・運営を行い、市民が利用しやすい環境を整える。

個別目標に対するまちづくり評価

年末年始を除き全日開館したことや施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、社会福祉関係団体の活動の支援を行った。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化による生活困窮者や高齢者などが増え続けているなか、これらの方々の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員児童委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。